

諮 問 書

松江市のガス事業は、昭和5年の創業以来 75 年、一貫してお客様へ低廉かつ安全で安心して使用していただける必要不可欠なエネルギー源として、日常生活の利便性向上や産業活動の発展に、公営事業として一定の役割を果たしてきました。

しかしながら、今日のガス事業の状況は各種規制緩和による各エネルギー間での競争の激化から、民間的発想の採用や、より一層の経営の効率化が求められています。

また行政関係では、平成12年12月に「行政改革大綱」が閣議決定され、「官から民へ」「小さな政府」づくりを掲げた改革に着手され、地方自治体においても「小さな自治体」づくりに一斉に動き出しました。直近では平成17年3月に「新地方行革指針」として、「公営企業による事業継続の必要性についての検討」を要請されているところです。

松江市のガス事業におきましても、平成14年に設置されたガス事業経営検討委員会において、“今後民営化の方向で検討すべきである”との提言がなされ、また現在策定中の「松江市行財政改革大綱(素案)」でも「ガス事業や交通事業など民間で対応可能な事業については、公営による事業継続の必要性を含め、抜本的な見直しを図る」こととなっています。

これらを受け松江市ガス局においても、民営化に向けた具体的な方向性を明確にすべき時期に来ているものと考え、本委員会の皆様の専門分野や広い知見をもって検討していただき、「ガス事業を取り巻く状況などを踏まえ、本市ガス事業の民営化に向けた時期、手法、財務のあり方」などを提言いただきますよう諮問します。

平成17年12月2日

松江市ガス事業経営検討委員会 様

松江市ガス事業管理者

ガス局長 谷 正 次